

事業概要シート

担当部名	福祉部	事業名	生きがいセンター維持管理事業費
担当課名	介護福祉課		生きがいセンター維持補修事業費
担当係名	高齢者支援係	根拠法令・例規・要綱等	厚木市生きがいセンター条例（昭和59年3月29日条例第4号）
事業開始年度	昭和59年度		厚木市生きがいセンター条例施行規則（昭和59年3月30日規則第8号）

事業概要

目的	生きがいセンターの主な利用者である高齢者と障がい者が安全で快適に施設を利用できるよう、適正かつ効果的な維持管理等を行うことで、働く意欲のある高齢者が自己の経験や能力を生かし、仕事を通じて社会との連携を深めつつ、自己の生きがいを追求するほか、心身障がい者が仕事又は訓練を通じて社会参加と自立を図ることに寄与するものです。
----	---

関連子事業	No.	子事業名	事業概要	R4予算額
		1	生きがいセンター維持管理事業	センターの維持管理
	2	生きがいセンター維持補修事業	センターの維持補修（修繕等）	2,995
	3	生きがいセンター改修事業	長寿命化改修に向けた設計委託（外部評価の対象外）	4,090
	4			
	5			
	6			
	7			
合 計				10,825

事業の効果	生きがいセンターの適切な維持管理等を行うことで、働く意欲のある高齢者が自己の経験や能力を生かし、仕事を通じて社会との連携を深めるとともに、心身障がい者が仕事又は訓練を通じて社会参加と自立を図ることができます。
-------	--

事業のコスト（親事業）

コスト	単位	令和2年度（決算）	令和3年度（決算見込み）	令和4年度（予算）
	事業費	千円	7,629	5,660
人件費	1,696		1,678	
経費総額	9,325		7,338	

成果指標	指標名	成果指標の推移グラフ				
	指標の説明	シルバー人材センターの会員数及び就労者数				
	年度	H30年度	R元年度	R2年度	R3年度	
	会員数	数	1,056	1,060	1,054	1,015
	実就労者数	数	977	963	935	913
	延就労者数	数	24,452	24,667	23,782	23,260
	延就労者数/会員	件	25.0	25.6	25.4	25.5
	前年比	%	—	100.4%	99.4%	96.3%
	指標備考	前年比は会員数				

①市民要望	<p>①少子高齢化による高齢者人口が増加傾向にある中、定年後も働く意欲のある高齢者が経験と能力を発揮し、活躍できる環境や障がいを持つ方が仕事又は訓練を通じて社会参加を行うための就労環境の整備が求められていました。</p> <p>②当初、現役引退後の高齢者の活躍の場や障がいのある方の社会参加という社会的要請がありましたが、障害者地域作業所が民営化された現在においては、超高齢社会の進展に伴い、介護を必要とする方が増加しており、持続可能な介護保険制度のためには、介護予防が重要となっています。介護予防には、就労や地域活動、ボランティア、趣味サークルなど社会参加が効果的とされています。</p> <p>③施設の利用者は、原則、条例に定める施設利用者（市内に住所を有する60歳以上の者又は心身障がい者が15歳以上のもの）に限られていることから、3階の諸室利用の利用はあまりありません。今後は、使用許可を受け、日常的に使用している法人（厚木市シルバー人材センター及び障がい者団体）に留まらず利用者の範囲を拡大することや目的外利用など、施設の有効活用を図るための方策を検討する必要があります。</p>
②社会的要請	
③課題	

上記課題等への対応や見直しの方向性	<p>①今後の生きがいセンターの有効活用に向けた方策（例：利用者の専用駐車場がないため、徒歩で利用できる施設周辺の住民に対し利用を促すこと等）の検討等、あらゆる角度から取り組む必要があります。</p> <p>②当初、障がい者地域作業所は、直営（運営は市）であったことから、障がい者の利用者数が一つの指標となっていました。平成23年4月以降は、民営（障がい者団体）による運営及び施設使用貸借に替わったことから、障がい者の利用数を指標に当てはめることが妥当でなくなりました。</p> <p>③生きがいセンターは建設から39年が経過し、屋根や外壁を始めとする施設の老朽化が進行していることから、目標耐用年数まで計画的に施設を使用するための長寿命化改修の実施に向けた検討を進めています。</p>
-------------------	---

1	子事業名	生きがいセンター維持管理事業
----------	------	-----------------------

対象	厚木市生きがいセンター
事業詳細 (実施内容・手法等)	【事業内容】 1 施設で使用する消耗品の購入(交換) 2 施設の光熱水費の支払い 3 施設賠償責任保険への加入 4 施設の清掃業務委託、警備業務委託、害虫防除委託を行います。

事業のコスト

コスト	単位(千円)	令和2年度(決算)	令和3年度(決算見込み)	令和4年度(予算)
	事業費		3,431	3,426
	人件費	848	839	
	経費総額	4,279	4,265	
事業費 財源内訳 (千円)	財源	令和2年度(決算)	令和3年度(決算見込み)	令和4年度(予算)
	一般財源	476	519	819
	国県支出金	0	0	0
	市債	0	0	0
	その他	2,955	2,907	2,921
	総額	3,431	3,426	3,740

事業費内訳	【令和4年度予算のうち事業費の内訳】 (歳入) 一般財源 819千円 その他 2,921千円(行政財産使用料2,566千円、自動販売機電気使用料20千円、光熱水費負担金335千円) (歳出) 需用費 2,696千円(トイレトーパー・蛍光灯・消火器等購入費105千円、光熱水費2,591千円) 役務費 9千円(施設賠償責任保険9千円) 委託料 1,035千円(清掃業務738千円、警備業務119千円、害虫防除業務等178千円)
-------	--

直近3か年以内の事業見直しの有無とその内容	見直しの有無	無
-----------------------	--------	---

関連事業	生きがいセンター維持補修事業 生きがいセンター改修事業費(長寿命化)
------	---------------------------------------

施設の詳細



【施設情報】	
1 アクセス	小田急電鉄小田原線本厚木駅から徒歩約25分(厚木市松枝2-5-17)
2 敷地面積	1,021.00㎡
3 延床面積	1,576.99㎡
4 建築年度	昭和58年度
5 施設構造	鉄筋コンクリート造地下1階地上3階建
6 施設利用状況等	1階: シルバー人材センター事務室等 2階: 障がい者団体作業所等 3階: 会議室1、会議室2、休憩室、調理室

事業概要シート

2	子事業名	生きがいセンター維持補修事業
対象		厚木市生きがいセンター
事業詳細 (実施内容・手法等)		【事業内容】 1 施設設備等修繕 施設に附帯する設備等の緊急的な修繕を行います。 2 施設保守点検業務委託 自家用電気工作物の保安業務、エレベーターの保守点検業務、自動扉の保守点検業務、空調機の保守点検業務、消防防災設備の保守点検業務委託を行います。

事業のコスト				
単位 (千円)		令和2年度 (決算)	令和3年度 (決算見込み)	令和4年度 (予算)
コスト	事業費	4,198	2,234	2,995
	人件費	848	839	
	経費総額	5,046	3,073	
	事業費 財源内訳 (千円)			
	財源	令和2年度 (決算)	令和3年度 (決算見込み)	令和4年度 (予算)
	一般財源	3,198	1,234	1,995
	国県支出金	0	0	0
	市債	0	0	0
	その他	1,000	1,000	1,000
	総額	4,198	2,234	2,995

事業費内訳	【令和4年度予算のうち事業費の内訳】 (歳入) その他 1,000千円 (行政財産使用料1,000千円) (歳出) 修繕料 1,079千円 (埋設ガス管修繕、空調機修繕、ドアストッパー修繕、自動扉修繕等) 委託料 1,916千円 (昇降機保守点検660千円、自動扉装置保守点検61千円、空調機保守点検528千円、消防防災設備保守点検286千円、給排水設備保守点検79千円、電気工作物保安業務302千円)
-------	---

直近3か年以内の事業見直しの有無とその内容	見直しの有無	無
-----------------------	--------	---

関連事業	生きがいセンター維持管理事業 生きがいセンター改修事業費 (長寿命化)
------	--



